

エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 経過報告

(1) H27 シカ年度エゾシカ個体数調整実施結果（平成 27 年 6 月～28 年 5 月）
合計 745 頭

	計	目標数
➤遺産地域内（環境省）	計 209 頭	(400 頭)
・知床岬地区	24 頭	(30 頭)
・ルサ-相泊地区	79 頭	(210 頭)
・幌別-岩尾別地区	106 頭	(160 頭)
➤隣接地区	計 536 頭	
・ウトロ地区（林野庁）	112 頭	(160 頭)
・遠音別地区（林野庁）	81 頭	(130 頭)
・真鯉地区（林野庁）	19 頭	(50 頭)
・ウトロ周辺（斜里町）	371 頭	
・羅臼町内（羅臼町）	138 頭	

(2) ルシャ地区エゾシカ季節移動調査

- ルシャ地区での捕獲の必要性を検討する為に季節移動調査を実施した。
 - ・H26 年 6～11 月に GPS 首輪を装着した 10 頭のエゾシカ（メス成獣）の行動を追跡調査。
 - ・H27 年 7 月末に 4 日間だけ羅臼側に移動し、すぐにルシャ地区に戻る動きをした。当該個体の他の機関および残り 9 頭は、1 年中ルシャ地区の狭い範囲に定着した。
 - ・H28 年 5 月上旬に、新たに 4 頭のエゾシカ（メス成獣）に GPS 首輪を追加装着。

(3) 平成 28 年度エゾシカ・陸上生態系WG開催状況

●第 1 回会議

➤平成 28 年 6 月 28 日（火）14 時 00 分～ 釧路地方合同庁舎 第 1 会議室

➤主な内容

◇H27 シカ年度エゾシカ保護管理計画実行計画実施結果について

◇H28 シカ年度エゾシカ保護管理計画実行計画案について

【個体数調整】

遺産地域内の捕獲実績は捕獲目標数の 52%と低い。その理由として、捕獲目標数が高めに設定されている、物理的・社会的な制約により捕獲圧がかけられない場所が残っている、手法と体制の問題などがあげられた。

【植生モニタリング】

今後必要な作業として、下記の点があげられた。

- ・植生の回復が具体的にどのような向上が見られたか、分かりやすく表現できるように植生指標を整理する。
- ・過去に遡って植生モニタリングのデータベースを作成する。

◇第3期管理計画素案について

- ・保護管理計画→管理計画に名称変更
- ・個体数調整については、コスト・持続性・体制について議論
- ・次期体制について

2 今後の予定

●平成28年度第2回エゾシカ・陸上生態系WG

- 平成28年10月7日（金）14時00分～ 釧路市内
- 議題 H28シカ年度エゾシカ個体数調整実施方針 他

●平成28年度第3回エゾシカ・陸上生態系WG

- 平成28年2月頃に開催予定
- 議題 第3期管理計画の取りまとめ 他